

過去の診療情報を利用した臨床研究について

2018年5月8日

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。本研究では疾患の特性上、未成年（16歳以上）の患者さんが研究の対象となり得ます。以下の説明文書においてお子様の受診歴も対象となることを想定してお読み下さい。この案内をお読みになり、ご自身あるいはお子様がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

1993年4月1日～2015年12月31日の間に、血液疾患の治療のために虎の門病院に入院し、同種造血幹細胞移植を受けられた方

【研究課題名】

同種造血幹細胞移植後の二次発がんの発症率と予後に関する解析

【単独・多施設】

虎の門病院単独研究

【主任研究者】

虎の門病院 血液内科 谷口修一

【自施設研究責任者】

虎の門病院 血液内科 谷口修一・森有紀

【研究の目的】

日本人成人における同種移植後の二次発がんに関するデータを収集して、リスク因子を明らかにし、移植後長期フォローアップにおける、移植後二次発がんの有効な予防手法と早期発見のためのスクリーニング戦略を確立することを目的とする。

【利用するカルテ情報】

患者基本情報（年齢、性別、原疾患、移植源、HLA適合度、移植前処置、免疫抑制剤の使用、ATGの使用、高容量ステロイドの使用、急性および慢性GVHD、各種感染症を含む移植後合併症など）

二次発がんに関する情報（発症日、種類、治療など）

【研究実施期間】 2016年3月31日～2019年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は、研究終了後に、学会・学術論文等で研究結果を開示したのち、廃棄します。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成30年10月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 森 有紀

電話 03-3588-1111(代表)